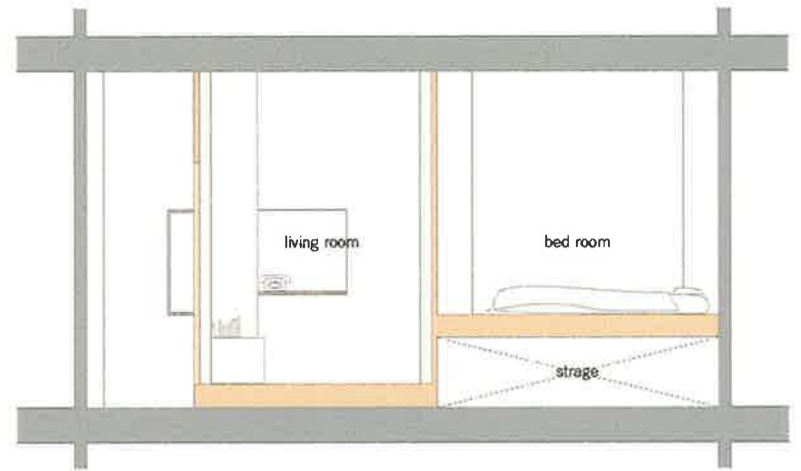




plan ; scale : 1/50

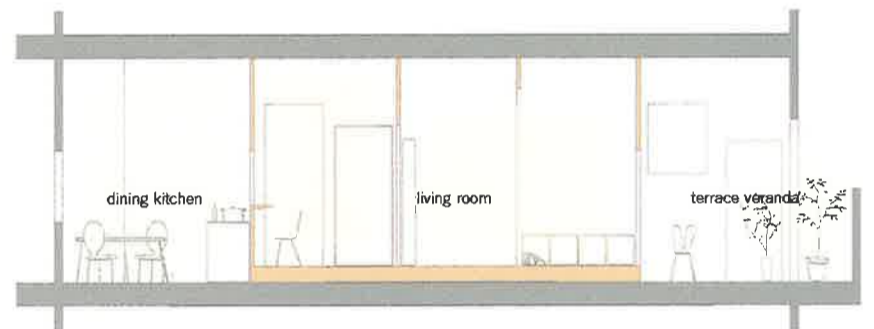


section ; scale : 1/75

Floor

3つの床レベルによって高さに変化を与えます。

玄関とベランダをつなぐ土間空間は、外部の領域を内側へと引き込み外部性を高めています。高さの変化に乏しいスケルトンに対して床面から変化を与えることで、半外部的な土間から寝室へと内部性を強めながら連続的に展開します。



section ; scale : 1/100

Wall

垂れ壁によって空間のまとまりを生みます。

壁の領域性に変化を与えることで、見かけ上はひとつながりの空間をゆるやかに分節します。床面の変化も伴い、外部空間との連続性や部屋のまとまりが強調されます。

段と節の部屋

スケルトンとして残された一室に強い領域性を感じます。高さの一律な天井が単調な内部空間をあらわにし、狭いベランダによってのみ外部とのつながりを持ちます。

変化の乏しい空間では居場所を見出せず、生活は不自由になります。

内部空間の変更を可能にしたスケルトンそのものもつ領域を読み解き、そこへ新たな領域を再定義することで生活にきっかけを与えられるのではないのでしょうか。

光や素材、取り込まれたあらゆる要素は領域をもち、あらゆる領域がその場に生活を築きます。

